



緑陰通信

～県立図書館に行こう～

News from the shade of trees

- 「みどりの図書館フェスタ」大盛況！…………… P 1
- 「子どものための『みやざきの言の葉』講座 IN 西都&『みやざきの言の葉』語り部養成講座」開講しました！… P 2,3
- 「えいごのおはなしかい」大盛況！…………… P 3
- 「新着図書案内！」…………… P 4

【連絡先】

宮崎県立図書館
総務・企画課
TEL : 0985-29-2956

「みどりの図書館フェスタ」大盛況！

11月3日（日）文化の日に、秋の読書週間記念イベントとして「みどりの図書館フェスタ」を開催し、さまざまな催し物を行いました。

オープニングは、宮崎市立大宮中学校合唱部の皆さんの合唱でした。本格的な合唱曲から、小さなお子さんが楽しめるアニメソングまで、ギャラリーいっぱい響き渡るすばらしい合唱を披露していただきました。次に、NHKのアナウンサーとキャスターによる「絵本の読み聞かせ」を行いました。大きなスクリーンに絵本を映し出しながらの読み聞かせに、多くのお子さんが楽しまれていました。

その後、毎年恒例の「手品&バルーンアート」。見ている人も実際に手品や風船での動物作りなどが体験でき、大盛り上がりでした。

また、職員が宮崎に伝わる「海幸彦 山幸彦」や「天の岩戸開き」の朗読を行いました。併せて、伝統芸能の紹介として、都農神社の「浦安の舞」を、都農町立都農中学校の4人の生徒さんに、鈴の音に合わせて厳かに御披露いただきました。

最後の演目は「エプロンシアター」。「かば先生」のニックネームで子どもたちに慕われ、昨年亡くなられた佐藤雄一小児科院長の御家族から寄贈していただいた「かば先生文庫」の中から、「おおきなかぶ」と「うらしまたろう」を、職員がエプロンに登場人物等の人形を貼り付けながら、お話ししたり踊ったりしながら、楽しく演じました。

館内では、1日を通し、押し花をつかった「オリジナルしおり作り」や「クイズラリー」、高鍋農業高等学校の生徒さんによる生製品の販売を行いました。アンケート結果を見ると、ほとんどの方が体験され、「自分だけのしおりができてよかった」や「クイズラリーでエコバッグがもらえてよかった」「来年もまたやってほしい」などと好評でした。

エンディングでは、優良読書団体の表彰を行い、その後、皆さんが待ちに待った「お楽しみ抽選会」。とてもにぎやかなフィナーレでした。

来年もまた、多くの方に楽しんでいただけるよう、職員一同がんばりたいと思います。本当にたくさんの御参加、ありがとうございました。



【オープニング】



【手品&バルーンアート】



【浦安の舞】



【エプロンシアター】

子どものための「みやざきの言の葉」講座IN西都終了

子どものための「みやざきの言の葉」講座を西都市で全4回開催しました。

講師は第1回：宮崎市神話・観光ガイドボランティア協議会の岡田勝運氏・宇都裕子氏、第2回：宮崎県立図書館名誉館長伊藤一彦氏、第3回：さどわら語りの会林都子氏・石崎芳行氏、第4回：椎葉綾心塾塾長綾部正哉氏でした。

みやざきの神話・伝承、文学、民話、歌や言葉について、毎回2時間楽しく学んでいただきました。

受講者の方々からの感想の一部を御紹介します。「神話の地が宮崎というのが改めてうれしく思いました。」「『大和ことば』の美しさ、すばらしさ、改めて感じました。」「幼い頃、父が寝物語をしていてくれたことを思い出しました。」「大きくなって、子どもを産んだら、子守唄を歌ってあげようと思いました。」「全部来て、全部面白かったです。『みやざきの言の葉』についてよくわかりました。」

子どものための講座と銘打ったものでしたが、保護者の方やボランティアの皆さん、また宮崎の言語文化に興味のある大人の方々にも好評でした。

この活動により、宮崎に伝わる神話・伝承等の言語文化が継承され、子どもたちはもちろんのこと、広く県民の皆様に郷土愛や誇りをもっていただけたのではないかと思います。御参加くださった皆様ありがとうございました。



【石崎氏の語り】



【綾部氏の尺八演奏】



「みやざきの言の葉」語り部養成講座終了

『次世代につなぐ「みやざきの言の葉」継承事業』のひとつとして「みやざきの言の葉」語り部養成講座をシニア世代や読書活動ボランティア等を対象に西都市と日南市でそれぞれ全6回開催しました。

講師は第1回：宮崎県立看護大学准教授大館真晴氏、第2・3回：宮崎市神話・観光ガイドボランティア協議会の岡田勝運氏・宇都裕子氏、第4回：南九州大学教授矢口裕康氏、第5・6回宮崎語り手の会「おはなしさんぼ道」那須道子氏でした。

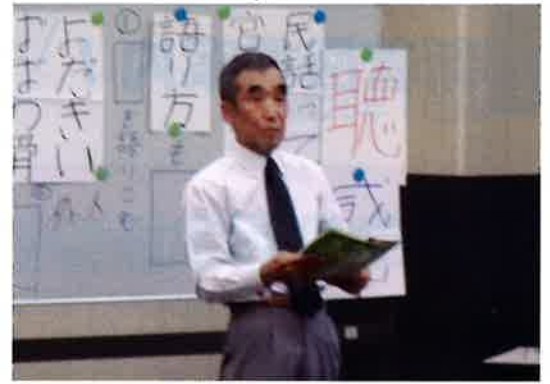
第1回から3回までは神話・伝承に関する講座、第4回から6回は民話に関する講座で、実技も交えながらのものでした。この講座では今後県内で広く活躍をしていただくことを願い、6回全て受講された方に「みやざきの言の葉語り部認定証」を差し上げました。

受講者の方々からは「これからの記紀の道案内が一段と楽しくできるのではないかと思います。今まで、話していたことをより一層自信をもってガイドができると思うています。」「美しい日本語や語りの基本をしっかりとマスターできるように何回も朗読してみようと思いました。」「声を出すことがこんなに楽しいのかと思いました。自信をもって朗読したい。」「宮崎に民話があるのかと思っていましたが、びっくりするほどたくさんあるんですね。学んで語り継いでいきたいです。」「語りは難しいと思って初めから諦めていましたが、少しだけやってみようかと思う気持ちが出てきました。」「方言を使った語りの楽しさを味わわせていただきました。」という感想をいただきました。



【宇都氏は古代衣装で講義】

ここで御紹介した感想は一部ですが、その多くが、今後の御自分の活動への意欲に満ちたものでした。是非この講座で学ばれた「みやざきの言の葉」をさまざま形で広げてくださると嬉しいです。御参加いただきました皆様の今後の御活躍を期待いたしております。



【矢口氏の講座】



「えいごえほんのおはなしかい」大盛況！



11月15日(金)に「えいごえほんのおはなしかい」として、福岡アメリカン・センターに7月に就任されたマーガレット・マックロード館長とセンター職員のカグノ麻衣子さんが来館し、英語の絵本の読み聞かせを行っていただきました。

「Can you do it? (きみはできる?)」「I can do it! (できるよ できる!)」のかけ声にあわせて、マックロードさんも、子どもたちも、みんな首をふったり、足を踏みならしたり…。「えいごえほんのおはなしかい」は大盛況です。

宮崎県立図書館での「えいごえほんのおはなしかい」は、今回で7回目になります。今回も、始まりのずいぶん前から待ってくださっている方も多く、皆さん楽しみにされている様子でした。マックロード館長は、日本語がとてもお上手で、県立図書館では初めての読み聞かせだったのですが、子どもたちとすぐに仲良くなっていました。

最初のおはなしは、『Up, Down and Around』みんなでたねをまきました。まいたたねの中身によって、上にのびたり、下にのびたり、地面をぐるぐるうねったり…。最後はおいしいごちそうになりました。

次のおはなしは、『Big Red Barn』おおきなあかい納屋 (なや)の一日の様子を描いています。

最後のおはなしは、『From Head to Toe』みんなで、ゴリラになって胸をたたいたり、ワニになってしっぽをふりまわしたり、ネコになってからだをまるめたり…。「Can you do it? (きみはできる?)」「I can do it! (できるよ できる)」と言いながら、楽しそうに動いていました。

最後にはマックロード館長から子どもたちへ風船のプレゼントもあり、とても楽しいおはなしかいでした。



【マックロード館長とカグノさん】



【よみかかせの様子】





●食の安全について考えてみませんか?

添加物や農薬、遺伝子組み換えや産地偽装など、普段口にする食品に不安を感じることがあります。県立図書館には、簡単な食の安全術や、よい食品の見分け方などを紹介した本があります。

『**農薬・添加物を家庭で落とす方法**』向笠公威・長岡聖子 編集 (株式会社宝島社)

現代の食品はどれも、農薬・添加物まみれ…。そう思って諦めていませんか? 実は、野菜、果物、肉などの食品についての農薬・食品添加物は自宅で簡単に落とすことができます。本誌では、食材別の「除毒テク」を徹底解剖! 野菜や肉の危険部位から、食材の選び方、下ごしらえまで、数分の手間で「毒だし」する方法を、イラスト入りでわかりやすく解説しました。



～関連図書～

『家庭でできる食の安全術』増尾清 著 (祥伝社)

『お母さんのための「食の安全」教室』松永和紀 著 (女子栄養大学出版部)

『食べるな! 危ない添加物』山本弘人 (リヨン社)

●インフルエンザや予防接種についての知識が身に付きます

インフルエンザが流行する季節になりました。特に、小さい子どもさんや高齢者のいる家庭ではインフルエンザについての知識を深め、予防に努めることが大切です。

『**よくわかるインフルエンザのすべて**』河合直樹 著 (医薬ジャーナル社)

刻々と変化するインフルエンザに対応すべく、日本臨床内科医会はインフルエンザ研究班を組織し、10年以上にわたって調査してきました。インフルエンザの基礎から診断、治療、予防などのインフルエンザ対策として欠かせない最新の知識について、これまでのデータも交えてできるだけわかりやすくまとめました。



～関連図書～

『ワクチン接種ガイド』菌部友良 監修 (日経メディカル開発)

『こどもの予防接種 知っておきたい基礎知識』金子光延 著 (大月書店)

『予防接種は「効く」のか?』岩田健太郎 著 (光文社)

ご利用案内

開館時間 ■一般閲覧室: 9:00~19:00
(日曜・祝日は9:00~17:00)
■児童図書室: 9:00~17:00
休館日 ■毎週月曜日(祝日の場合翌日火曜)
年末年始 12/29~1/4
特別整理期間 2/3~2/10

編集・発行

●宮崎県立図書館

住所 ■〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1
TEL ■0985-29-2911 (総務・企画課総務担当)
FAX ■0985-29-2491 (総務・企画課総務担当)
HPアドレス ■<http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp>
携帯アドレス ■http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/i_index.htm

